

Contents

ACLSリソーステキスト

序文	xi	Chapter 3	23
Part 1		除細動	
Chapter 1	1	除細動の原理	23
ACLS概論		自動体外式除細動器	28
ACLSに伴う付加的有用性はあるのか?	1	手動式除細動器	30
チームリーダーとチーム蘇生	3		
ガイドラインの背景にある科学— ガイドラインはなぜ変わるのか?	6		
Chapter 2	9	Chapter 4	43
心臓突然死： 救命戦略—BLSとACLSの統合		基本的な気道確保： 換気，気道補助用具， 循環補助用具とCPRとの統合	
突然死とは?	9	概説	43
救命の連鎖	11	酸素化および換気	44
救命の連鎖におけるそれぞれの輪の強化	15	酸素投与	48
院内の救命の連鎖	16	CPRと高度な気道確保の統合	53
救命の連鎖における他の重要な輪	16	気道補助用具および 高度な気道確保器具	55
連鎖の輪を閉じる	17	気道補助用具および循環補助用具を 利用した心拍出量の最適化	59
		CPR補助用具はどのように働くか	59

Chapter 5		Chapter 9	
無脈性心停止：VF/VT	63	脳卒中	155
概説	63	重要なポイント	155
除細動とCPR：不可欠な組み合わせ	64	はじめに	155
心室細動—早期認識の重要性	66	定義	156
血管収縮薬および抗不整脈薬	68	病態生理	158
		脳卒中の危険因子	159
		脳卒中の管理	162
		クリティカルケアおよび	
		リハビリテーションへの移行	175
Chapter 6		Chapter 10	
無脈性心停止：心静止/PEA	83	急性冠症候群—STEMI	179
概説	83	重要なポイント	179
心静止	88	急性冠症候群およびSTEMI概論	179
無脈性電気活動(PEA)	93	急性冠症候群—範囲	180
		急性冠症候群—心電図	181
		急性冠症候群—病態生理	185
		STEMI—治療目標	187
		STEMI—初期管理	188
		初期EMSケア	189
		救急部	197
		Appendix：ACC/AHAの勧告と	
		エビデンスレベルの分類	207
Chapter 7			
徐脈	99		
重要なポイント	99		
はじめに	99		
徐脈と症状	100		
徐脈—診断と治療の精緻化	102		
(ブロック部位が)未分類の症候性			
高度房室ブロックの管理	115		
重要事項：ACSにおける房室ブロックの			
管理	117		
緊急心臓ペーシング	118		
Chapter 8			
安定している頻拍および期外収縮	129		
重要なポイント	129		
はじめに	129		
頻拍と症状	131		
治療上の重要なポイント	131		
頻拍—診断と治療の精緻化	134		
まとめ	151		

Part 2

Chapter 11 ACLS-EP概論 211

ACLS-EP：前提	211
ACLS-EPの体系的アプローチ	211
5 Quadradsの適用	213
まとめ：5 Quadrads	216

Chapter 12 心血管系 Part 1：急性冠症候群、 非ST上昇心筋梗塞および 不安定狭心症 221

重要なポイント	221
概説	221
胸痛の鑑別診断	221
非虚血性致死的胸痛の鑑別診断	225
リスク層別化—適切な時期に 適切な患者、適切な治療を： 心電図とトロポニン	230
心電図：ST下降または動的T波陰転	234
正常または非診断的心電図：STまたは T波の診断的変化がない(中等度/低リスク 不安定狭心症)	240

Chapter 12 心血管系 Part 2：心不全およびショックを 合併する急性冠症候群 245

重要なポイント	245
ショック	245
心原性ショックを合併した急性心筋梗塞	246
急性肺水腫、低血圧、ショックの アルゴリズム	252

Chapter 13 救急心血管治療における中毒学 259

全般的な注意事項	259
主要なトキシドローム	260
薬物または毒物による心血管障害の 管理	262
原因薬物別の中毒の管理	269

Chapter 14 特殊な状況での蘇生 Part 1：低体温 289

はじめに	289
低体温：定義および自覚症状	290
すべての低体温患者に対する 一般的ケア	290
心停止前の介入	293
心停止に対する処置	296
循環停止後の管理	298
まとめ	298

Chapter 14 特殊な状況での蘇生 Part 2：溺水 301

概説	301
予防	301
病態生理	302
溺水の予後：研究と報告	303
溺水患者に対するBLSガイドライン	311
溺水患者に対するACLSガイドライン	313
まとめ	314

Chapter 14 特殊な状況での蘇生 Part 3：重症致死的喘息 317

概説と疫学	317
致死的喘息および致命的喘息	318
病院前の臨床症状の増悪と切迫呼吸停止および心肺停止	321
救急部における主治療法と再評価	322
治療後 / 蘇生後の管理	326
非侵襲的換気補助	327
致死的喘息に対する気管挿管	328
重症喘息患者における機械的人工呼吸	330
考慮すべき最終的治療	333

Chapter 14 特殊な状況での蘇生 Part 4：アナフィラキシー 337

定義	337
発生率	337
病因	338
病態生理	338
自覚症状	338
鑑別診断	339
アナフィラキシーの治療	340
心停止	341
アナフィラキシー治療におけるその他の注意点	342

Chapter 14 特殊な状況での蘇生 Part 5：外傷による切迫した心停止と蘇生 345

概説と疫学	345
初期評価とトリアージ	346
外傷に伴う心停止に対するBLSの変更点	346

外傷に伴う心停止に対するACLSの変更点	349
緊急開胸術	350
穿通性心損傷	351
心挫傷	351
外科的診査の適応	351

Chapter 14 特殊な状況での蘇生 Part 6：妊娠中の心停止 355

背景	355
母体と胎児にみられる生理学的変化：心停止との関連性	356
心停止の妊婦に対する蘇生	358
心停止の妊婦に対する緊急帝王切開術	361

Chapter 14 特殊な状況での蘇生 Part 7：感電と落雷による損傷 365

はじめに	365
疫学	365
防止	369
感電と落雷のおもな影響	370
病態生理	371
院外での管理	373
救急部での管理	374

Chapter 15:	
致死的な電解質異常と	
酸塩基平衡異常	377
はじめに	377
カリウム	379
ナトリウム	384
カルシウム (Ca ⁺⁺)	389
マグネシウム	395
致死的な酸塩基平衡異常	397
糖尿病性ケトアシドーシス	400
非ケトン性高浸透圧症候群	405
まとめ：電解質異常と致死的な 酸塩基平衡異常	405
<hr/>	
Index	407